

創立者の意志を継承して



月居 泰 校長

歴史と伝統を大事にしながら、創立者の意志を受け継ぎ、更なる発展のため尽力していらつしやる校長先生が日々お考えになつていらっしゃることを紹介します。

「思ひこみ」

「できないのではない」「自分にできないと考えている間、人間にできないと考えているのである」。仕事や勉強でも、こういう気持ちになる人が少なくない。つまり「自信がないから自分ではできない」と敬遠してしまう心の中には、苦労したり、失敗したりするのが嫌だからやりたくないという考えがあるということです。しかし、このような消極的な生き方をしていると、開けるはずの運命を自ら閉ざしていることになりす。一念発起、この心の壁を破ることで、何事にも逃げ腰にならず挑戦していきましょう。

(学校新聞から)

○月居服装専門学校ならではの特色

①和洋裁の技術と理論のほか、社会人としての教養一般の履修内容を持っています。

一般教養の内容 着装・手芸・調理・色彩・体育・珠算・社会・国語・音楽・茶華道

②主な行事

▽和洋裁技術競技会 ▽針供養 ▽ファッションショー ▽テーブルマナーなど

○課程内容と取得資格

1・高等課程(中学校卒業後入学) 3年間

・取得資格 高等学校同等の卒業資格

※昭和60年、大学入学試験資格認定校として認可

2・専門課程(高等学校、高等課程卒業後入学) 2年間

・取得資格 短期大学と同等の卒業資格、専修学校準教員資格

※昭和60年、国家公務員採用試験受験資格指定校に認可

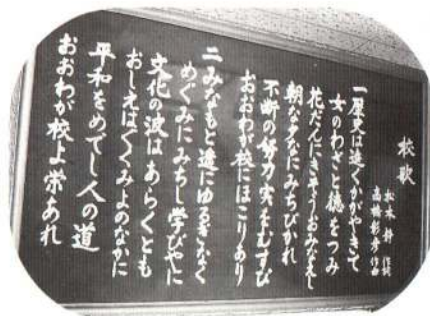
3・一般課程(年齢学歴に関係なく入学でき、夜間課程もあります。)

○その他に取得できる免許や資格

▽和裁、洋裁の資格免許状 ▽ファッションビジネス検定 ▽着装師資格認定証

▽専修学校準教員資格 ▽茶道、珠算の免許など

※就職率は100%を誇っています。



正面玄関にある校歌の刺しゅう



ファッションショー



針供養



卒業生の声

声

私は現在、学園に勤務しています。この学園で学び、いろいろな技術を身につけ、資格を取得できたことで、生活にも大変役立っています。卒業して感じたことは「忘れていたことでも、その場(環境)になると覚えていた」技術を身につけることのすばらしさでした。

斎藤 時子さん

終わりに



月居 八重子 副校長

最後に副校長の月居八重子先生から、うれしいお話を聞くことができました。生徒たちには「服飾界のリーダーを目指せ」と激励し、笑ったり泣いたり、共に歩んでいるということでした。

入学当初は特に悩み多き生徒が目立つようでしたが、三年後はどの生徒も表情が明るく、自信と誇りを持って卒業するそうです。特に学校として力を入れている点について尋ねたところ、基本的な生活習慣(服装・時間・責任ある行動)については厳しく指導し、個人個人の持っている長所を見つけて伸ばしてあげる。また、作品は必ず完成させる。そのためには基礎に力点を置き、反復履修させながら、技術を身につける喜びを味わってもらっている、と話してくださいました。ひとりひとりの生徒を大切にしながらじっくり取り組んでいらつしやる先生方の熱意と情熱に敬意を表しつつ、取材を終えました。